

## 平成 26 年度 堺市立図書館の点検・評価

1. サービス方針の取組への点検評価
2. 政令指定都市立図書館統計比較評価

### 1. サービス方針の取組への点検評価

堺市立図書館は「図書館サービス方針」に基づき各事業に取り組んでいます。その方針に対応する事業について指標を設定し、点検・評価を行います。また、その結果に基づいて事業の見直しを行い、次期事業を検討することで、より効率的、効果的な運営を目指します。

	指標	平成 26 年度目標	平成 26 年度実績	平成 25 年度実績
重点取組の達成指標	年間個人貸出点数	4,750,000 点	4,490,445 点	4,597,551 点
	年間レファレンス件数	115,000 件	108,280 件	110,169 件
	児童資料貸出点数	1,750,000 点	1,676,121 点	1,698,825 点
	来館者数	2,600,000 人	2,409,724 人	2,527,180 人

サービス方針 1：地域の知の拠点として、市民の暮らしに役立つ資料・情報を提供します。

取組項目	具体的取組	実施状況	活動実績（指標）	評価
市民の課題解決に必要な資料・情報の提供	● 市民の課題解決に必要な参考資料の充実と、レファレンス業務の強化	● 蔵書の充実と資料・情報の提供に努めました	蔵書冊数 1,901,721 冊  市民一人あたりの貸出点数 5.62 点（対前年度比 97.9%）	B
		● 参考資料の充実を図り、レファレンスサービスの促進に努めました。	年間レファレンス件数 111,181 件(対前年度比 97.6%)	
ICT を活用した情報の提供や調査・相談	● 図書館ホームページの利用促進 ● 新着図書等お知らせメール等の利用促進	● 図書館ホームページの更新を適時実施しました。	トップページアクセス数 2,175,302 件（対前年度比 104.7%）	B
		● 計画的に情報の発信に努めました。	新着図書お知らせメール送信点数（冊数） 191,511 点（対前年度比 97.6%） さかい☆HUG はぐメール送信件数 294 回(対前年度比 181.5%)	

<次年度に向けた取り組み>

レファレンス件数は目標を下回っています。地域の実情を踏まえ、市民の生活や仕事に関する課題解決についての講座等の充実に努め、継続して利用促進を図ります。

図書館ホームページのアクセス数は増えています。継続して、情報サービスの充実や利便性の向上に努めます。

さかい☆HUG はぐメールによる送信件数は増えています。継続して、情報発信に努めていきます。

（※さかい☆HUG はぐメール：子育てに関する情報を配信する堺市のメールマガジン）

サービス方針 2：市民の生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。

取組項目	具体的取組	実施状況	活動実績（指標）	評価
市民の生涯学習の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料展示やブックフェア、大人向け・子ども向けの行事の開催</li> <li>● 図書館を拠点とする読書会や研究会等の支援</li> </ul>	● 資料の展示会・ブックフェアを開催しました。	ブックフェア開催回数 375 回（対前年度比 110.3%）	B
		● 読書会等への資料提供に努めました。	読書会等への団体貸出冊数 1,964 冊（対前年度比 89.1%）	
多様な学習活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習機会の支援と、学習の成果を発表する場の提供</li> <li>● 課題解決のための学習機会の支援</li> <li>● 地域や学校園への講師の派遣</li> </ul>	● 図書館の利用促進と学習機会発表等のイベントを開催しました。	イベント等開催回数 45 回（対前年度比 112.5%）	A
		● 課題解決を支援する講座を開催しました。	課題解決支援講座開催回数 2 回（新規）	
		● 講師の派遣について積極的に対応しました。	講師派遣人数 56 人（対前年度比 130.2%）	

<次年度に向けた取り組み>

資料展示会・ブックフェアの開催回数は増えています。ブックフェアはその時のトピックについても実施しています。

市民参加型のイベント開催回数は増えています。次年度も、学習機会を支援する取り組みを継続していきます。

平成 26 年度は、新たに課題解決支援講座を 2 回実施しました。

講師派遣人数は増えています。継続して、講師派遣について積極的に対応していきます。

読書会等への資料提供を継続していきます。

サービス方針 3：快適な利用空間の提供につとめます。

取組項目	具体的取組	実施状況	活動実績（指標）	評価
安全で安心して利用できる快適な読書環境の充実	● 中央図書館の安全対策・老朽化対策	● 中央図書館の耐震改修工事等の設計の実施	耐震改修工事設計、冷暖房設備改修工事設計、エレベーター改修工事設計の実施 (新規事業)	B
高齢者や図書館利用に障害がある方へのサービスの充実	● 高齢者や障害者への情報提供や理解を深める講座の実施	● 大活字本の巡回ブックフェアの実施	巡回回数 28 回 (対前年度比 116.7%)	B
		● 発達障害者理解促進講座の実施	発達障害者理解促進講座参加人数 36 人 (対前年度比 85.7%)	

<次年度に向けた取り組み>

中央図書館の安全対策・老朽化対策として、耐震改修工事設計、冷暖房設備改修工事設計、エレベーター設備改修工事設計を実施しました。

大活字本の巡回ブックフェアは、前年度を上回る回数を実施しました。今後も大活字本を各館で活用できるよう努めていきます。

発達障害者理解促進講座の参加人数は減っています。障害者理解のための講座の広報に努めていきます。

サービス方針 4：地域の情報を収集・保存・提供し「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。

取組項目	具体的取組	実施状況	活動実績（指標）	評価
堺の歴史文化に関する資料や市政情報を収集・保存・提供、情報発信	● 堺の歴史文化資料のデジタル化	● 「堺市教育 100 年のあゆみ」など堺の歴史文化に関する資料を図書館ホームページ上の電子図書館で公開しました。	デジタル資料公開点数 8 点（対前年度比 66.7%）	B
地域資料の公開や文化活動支援	● 郷土資料展・記念講演会、堺歴史文化市民講座	● 地域資料に関する展示会、郷土資料展記念講演会を開催しました。	地域資料関係展示会開催回数 6 回（対前年度比 120%） 記念講演会参加 53 人（対前年度比 100%）	B
		● 歴史文化市民講座を開催しました。	歴史文化市民講座の開催回数 5 回（対前年度比 100%） 参加人数 261 人（対前年度比 75.9%）	

<次年度に向けた取り組み>

デジタル資料公開は、計画通り進めています。今後も、堺の歴史文化に関する資料の電子化と公開の充実に努めていきます。

地域資料関係の資料展示、歴史文化市民講座等を計画通り開催しました。今後も、地域資料関係の展示・講座等の開催に努めていきます。

サービス方針 5：子どもの読書環境の充実につとめます。

取組項目	具体的取組	実施状況	活動実績（指標）	評価
図書館ボランティアとの連携による乳幼児期からの読書習慣形成の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳幼児の保護者への啓発</li> <li>● 乳幼児向けよみきかせ会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 絵本から広がる家庭での親子ふれあい事業（保健センターでの啓発）を実施しました。</li> </ul>	絵本から広がる家庭での親子ふれあい事業回数 145 回（対前年度比 98.6%）	B
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳幼児向けよみきかせ会を開催しました。</li> </ul>	乳幼児向け読み聞かせ会開催回数 186 回（対前年度比 102.2%） 延べ参加人数 5,345 人（対前年度比 97.1%）	
子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者向け講座の開催</li> <li>● 学校への団体貸出の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者向け講座を開催しました。</li> </ul>	保護者向け講座開催回数 4 回（対前年度比 57.1%）	B
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「学校支援図書セット」の貸出による学校との連携を図りました。</li> </ul>	団体貸出冊数（児童書）68,396 点（対前年度比 118.6%） （内学校園への団体貸出冊数 44,925 冊）	

<次年度に向けた取り組み>

絵本から広がる家庭での親子ふれあい事業、おはなし会・おはなし大会、保護者向け講座等は、計画どおり開催しました。継続して事業を実施していきます。

保護者向け講座は、内容を見直した中で回数を設定しました。

団体貸出は増加しています。「学校支援図書セット」の貸出等を継続して実施し、学校との連携を進めていきます。

※取組の評価について（活動実績の対前年度比は参考数値とし、各取組の計画から活動実績までの総合的な評価をしています。）

A	計画通り取組を実施し、目標を上回る成果があった。
B	計画通り取組を実施し、一定の成果をあげた。
C	計画通りの取組ができなかったため、十分な成果を上げることができなかった。